

まちのアルバム

トールペイントで生活に彩りを

トールペイントスクールでは、木材やブリキ、粘土、布などの身の回りのあらゆる素材に、アクリル絵の具を使って絵付けを行っておられます。

毎月第2・第4金曜日、先生の作品をお手本にして、季節に合わせた静物画や風景画など彩り豊かな作品を作り、自宅のインテリアとして飾ったり、友人や家族へプレゼントしたりするそうです。

スクールの雰囲気は？と尋ねると「明るい！楽しい！」と声を揃える生徒の皆さん。

作品を通じて季節の移ろいを感じられるところや、スクールの皆さんと楽しくお話しする時間が魅力だそうです。

▼4月22日 市民交流センター



歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(213)

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

「Made in 野洲は各地へ」 —大篠原東遺跡—

野洲市内には多くの工場などがあり、それらでつくられたモノは、日本各地へ運ばれていきます。

野洲のモノづくりの歴史は古く、須恵器という約1,300年前の焼き物が大篠原東遺跡（現在の野洲クリーンセンターの北西周辺）から大量に出土しています。

出土したのは碗や皿、壺、甕だけでなく、硯といった文字を書くために墨をする道具も確認されています。

このことから、古代の大篠原は大規模な須恵器の生産地であったと考えられています。

大篠原でつくられた須恵器は、一旦、野洲市西河原周辺に運ばれ、選別された後に、琵琶湖や街道を経由して、滋賀県内や東海地方、さらには当時の都である奈良まで運ばれていたとも考えられています。

このように、野洲でつくられたモノは、今も昔も日本

各地へと運ばれているのです。

当館では、特集陳列「滋賀県野洲市大篠原の歴史と文化」にて、須恵器をはじめとする館蔵資料から大篠原の歴史と文化を紹介します。

(博物館学芸員 鈴木 茂)



大篠原東遺跡出土須恵器(市教育委員会蔵)

■特集陳列「滋賀県野洲市大篠原の歴史と文化」

開催中～7月10日(日)

※休館日：月曜日

※市民は入館無料

(運転免許証やげんきカード等をご提示ください。)

※市ホームページ等で事前に開館状況をご確認の上、ご来館ください。